

オンライン RLI
セッションの進め方
パートⅡ
サンプル



RLI 日本支部 ファシリテーター委員会

担当：高野 孫左工門 (RID2620 PDG)

1.ロータリーの機会

1. 自己紹介 ファシリテーターのみの場合 1分以内
2. 本セッションの仕組み・役割での位置づけを確認 1分以内
- 3 セッションの目標の確認 00:02~00:05
 - 国際ロータリーのプログラムのあらまし
 - 世界ネットワーク活動プログラムがもたらすメリット
 - 国際ロータリーのプログラムや世界ネットワークグループに参加することであなたやあなたのクラブにはどのような変化がうまれるでしょうか
 - それらに参加することはロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか
- 4 セッション 00:05~00:40
 - 国際ロータリーが常設するどのプログラムに参加したことがありますか
 - 【オンライン RLI 参加者テキスト 資料集 P25,26 を共有画面に表示】
 - それぞれの発言の後
 - 【画面を共有から参加者の顔が見える環境に切り替えて】
 - 参加したことがある人は感想を聞かせてください。
 - このようなプログラムが存在することをどのようにして知りましたか？
 - また、どのような方法で参加を実現しましたか？
 - ・世界ネットワーク活動プログラムがもたらすメリット
 - 国際的なネットワークであることを実感した体験（国際大会への出席等）を語ってもらう
4. まとめ 00:40~00:45
 - 単なる奉仕団体やボランティア団体との違い、ロータリーの特徴の一つに「国際的なネットワーク」であることが挙げられます。
 - クラブの活性化を目指すとき、身の回りのことはもとより、世界との繋がりが実感できるプログラムに参加することは、人生の豊かさを増す一場面になるでしょう。
4. アンケート記入

2.効果的なリーダーシップ戦略

1. 自己紹介 ファシリテーターのみの場合 1分以内
2. 本セッションの仕組み・役割での位置づけを確認 1分以内

3. セッションの目標の確認

- グループの中での指導力やコミュニケーション能力を向上させる
- 目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する

4. セッション

『参加者テキスト 資料集』の28ページを開いてください。そこには二つのシナリオが掲載されていますが、今回は「シナリオ2」について皆さんと考えてみます。 それではシナリオ2の(1)の前までの文章をどなたか読んでいただけますか？ 希望者はカメラに向かって挙手をお願いします。

続いて（1）から（6）までを読んでくださるかた挙手をお願いします。

ありがとうございました。クラブ会長を経験された方ならば、少なからず「そうそう」とうなずけるシーン設定だと思われます。

どうしたらクラブ活性化への道が開けるのか、あなたならどのような工程を経てこの課題をクリアしようとするか、皆さんのアイデアをお聞かせください。

5. まとめ 00:40~00:45

先頭に立つ方を表す言葉は様々あります。伝統的な表現からは「Boss」が挙げられます。皆の在りようを一手に引き受け、有無を言わさぬ上意下達方式がその言葉からイメージされます。

次に「Leader」が挙げられ、チームという言葉が連想されます。メンバーと共に目指す姿実現に向け役割分担を的確に行いながらPDCAを廻す、そのようなイメージがわきます。

ロータリーの中核的価値観にある「リーダーシップ」はどちらのイメージを表現しているか、お分かりになりますね。

3. 会員を勧誘する

1. 自己紹介 ファシリテーターのみの場合 1分以内

2. 本セッションの仕組み・役割での位置づけを確認 1分以内

3. セッションの目標の確認

- よいロータリアンの特性を定義する 理想的なロータリアンの特性とは
- どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを勧誘することができるかを
探る

4. セッション

あなたのクラブはよいロータリアンで構成されていますか？
第2セッションでアイディア交換した「リーダーシップ」を発揮しがいのあるク
ラブづくりには多様な視点をもった会員が存在することが望めます。
クラブを活性化するよいロータリアンとはどのような会員なのでしょう？

ロータリーには「職業分類」という仕組みがあることをご存知ですか？
職業分類を活用した会員の勧誘経験のあるクラブの方はいらっしゃいますか？

ある場合 → どのような活用方法でしたか？
クラブが所在する地域の職業構成と職業分類表の整合性をチェックしているか
を尋ねる

無い場合 → 会員増強は2019-20年度からスタートした「新しい戦略計画」
における「会員増強」計画における4つの優先事項
「より大きなインパクトをもたらす」→ 会員増強は最重要事項メッセージ
「参加者の基盤を広げる」→ 会員属性の多様化 IAC/RAC との関係強化
「参加者の積極的なかかわりを促す」→ 会員表彰機会の拡大 新形態のクラブ
「適応力を高める」→ 会員アンケートの実施 運営プロセスの改善
を確認する。

3. まとめ 00:40~00:45

ロータリーのエッセンス

Join Leaders, Exchange Ideas, Take Action の意味を確認してみてください。
会員増強がもたらしてくれるロータリーの醍醐味を、多くの人々が共有するこ
とができることになるでしょう。

4. チーム作りとクラブコミュニケーション

1. 自己紹介 ファシリテーターのみの場合 1分以内

2. 本セッションの参加チーム・グループでの位置づけを確認 1分以内

3. セッションの目標の確認

- チームとチーム作り（チームビルディング）がロータリークラブの中でどのようになされているのか調べてみましょう
- あなたのクラブの強みと弱みを議論しましょう
- 効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する
- 効果的なコミュニケーションの方法をロータリークラブのリーダーシップに応用する

4. セッション

このセッションの狙いは「元気なクラブ」を作るためのアイデアを得ることにあります。

質問

- ①クラブが「戦略計画（あるいは長期計画）」を持っているところはどのくらいあるでしょうか。カメラに向かって、あるところは○、ないところは×を示してください。
- ②ロータリーの認知度向上を目指したプロジェクト「世界を変える行動人」をご存知の方はどの位、いらっしゃるでしょうか。カメラに向かって、ご存知の方は○、ご存じない方は×を示してください。

戦略計画を持っているクラブの方にお尋ねします。

→計画があることでクラブが活性化したと思われる事例を、どのような仕組みや工夫を持って実行されたかお話しください。

→この内容に関する感想をお聞かせください。

「世界を変える行動人」をご存知の方にお尋ねします。

→公共イメージを向上させたと思われるプロジェクトを、どのような仕組みや工夫をもって実行されたかお聞かせください。

→この内容に関する感想をお聞かせください。

3. まとめ 00:40~00:45

クラブがチームとして一体化し、同じ目的に向かい、コミュニケーションよく行動を起こした時には、想定を超える結果と、期待を超える一体感を得ることができるはずです。元気なクラブづくりを目指しましょう。

5.ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕

1. 自己紹介 ファシリテーターのみの場合 1分以内
2. 本セッションの仕組み・流れでの位置づけを確認 1分以内

3. セッションの目標の確認

- ロータリー財団の補助金モデルを復習する
- クラブにとって補助金モデルが重要であることを議論する
- ロータリーの『6つの重点分野』の役割について学ぶ
- 『持続可能性』の重要性について理解を深める

4. セッション

ロータリー財団にはどのような補助金モデルがあるでしょうか？

－グローバル補助金と地区補助金の違い、シェアシステムを確認する

それではこの補助金の使い道を確認してみましょう

－(TRFの人道的奉仕のビデオ) <https://youtu.be/D3b2GXJPkbk>

あなたのクラブではTRFへの寄付がどのように使われているか話したことがありますか？ 或いは、活用したことがありますか？

- －パートⅡ第1セッションで学んだ「国際ロータリーのプログラム」の中にTRFに関連するものがありましたか覚えていらっしゃいますか？
- －地区補助金とグローバル補助金の活用事例を聞きだし、クラブにどのような変化をもたらしたのか、について発言を求め
- －補助金活用に対するアイデアを募り発言を促す
- －活用できる分野を確認しておくこと

補助金活用が期待される「6つの重点分野」とは何かを尋ねてみる

- －発言を確認しながら、Part Iで確認した内容、冒頭で視聴のビデオに触れ「平和と紛争予防/紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」を再度確認しておく

3. まとめ 00:40~00:45

「世界でよいことをしよう」を実践するための国際ロータリーが持っている仕組みについて学んできました。

ここでの学びをどのように活かそうと考えたか、あるいはそのためのアイデアが浮かんだかについて、聞かせてください。

6.米山記念奨学事業

1. 自己紹介 ファシリテーターのみの場合 1分以内
2. 本セッションの仕組み・役割での位置づけを確認 1分以内

3. セッションの目標の確認

- この事業は、いつ、どのような目的で始められたのか知りましょう
- この事業は、現在どのように成長してきたのかを知りましょう
 - ①年間奨学生数、その累計人数、 ②国、地域数、その傾向
 - ③年間寄付金収入総額、 ④年間寄付金支払い総額は
- この事業の意義について考えてみましょう

4. セッション

あなたは「公益財団法人米山記念奨学会」の事業についてどのような紹介ができるでしょうか？

- 財団 主にロータリアンの寄付を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業
- 使命 将来、日本と世界を結ぶ「かけ橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。
国際ロータリーの「平和と国際理解の推進」を実践する事業
- 誕生 1952年東京ロータリークラブにより誕生した「米山基金」をベースに1967年「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が認可される
- 特徴 ①世話クラブ・カウンセラー制度による奨学生の支援/育成
②日本最大の民間奨学事業：年間800人の奨学、事業費は14億円
累計20,396人の奨学生、その出身は125の国と地域
③世界9か国に所在する学友会組織

あなたは、あなたのクラブはこの事業に寄付以外の方法でかかわった経験がありますか

- 近隣に対象となる教育機関がないと世話クラブ等を経験しにくい制度ですがそのようなケースにおいて、奨学事業を推進・支援する方法はなんでしょう
- 奨学会への寄付について知っていることをお話しください
 - 普通寄付：クラブが会費に低額を乗じて行う寄付
 - 特別寄付：個人/法人/クラブからの普通寄付以外の寄付
 - 優遇自制：税額控除/所得控除
 - 表彰：功労者表彰/メジャードナー認証

あなたのクラブや地区では、この事業への関心を高めるために「よねやま親善大使」を招聘したことがありますか、ホームカミング制度を活用したことがありますか

奨学会とは別に「公益財団法人米山梅吉記念館」があることをご存知ですか

5. まとめ

00:40~00:45

日本のロータリー活動固有のプロジェクトである「米山記念奨学制度」について学んできました。公益法人を取得したこの活動に対し、更なる発展のため、これからの事業のありかたについてアイデアがありましたらお聞かせください。

6. アンケート記入